



発行者：ユニセフ子どもネット事務局 財団法人 日本ユニセフ協会 広報室 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス  
電話：03-5789-2016 フax：03-5789-2036 電子メール：jcuinfo@unicef.or.jp

unicef

財団法人 日本ユニセフ協会



## 「ユニセフ子どもネットニュース」

2001年2月21日にうまれた「ユニセフ子どもネット」。昨年は、ユニセフが世界的にとりくんだSay Yes for Childrenキャンペーンを日本でおこなうために資料をつくり、署名活動をしたり、12月に横浜でひらかれた「第2回子どもの商業的搾取に反対する世界会議」に向けて学習会や合宿セミナーをおこなったり…、世界会議の日本代表に選ばれたネットワーカーは本番でも大活躍しました。

ユニセフ子どもネットの活動は、世界の注目も集めています。今年発行されるユニセフの年次報告などにも、その活動がとりあげられるかもしれません。日本は、知識や情報を学ぶことには熱心だけど、自分の意見を世界に向けて発表したり、この地球をよりよいものにするために率先して活動することにはあまり熱心ではないと思われてきました。ユニセフ子どもネットが、「子ども



## 創刊号 をお届けします!

「権利」にかかる世界的な運動に積極的に参加することで、「日本の子どもは、世界の問題を考えたり、発言したり、行動したりするぞ」というメッセージを世界に伝えることができるでしょう。

ユニセフ子どもネットは世界のことを考え、世界に向けて活動します。その使命は、「この世界を子どもたちが健康に幸せにくらせる世界に変えていくこと」。

するために、世界の問題に関心を持ち、学び、自分の意見を持ち、その意見を世界に発表していくことが必要です。この「ユニセフ子どもネットニュース」がそうしたことを実現し、みなさんの情報交換の場になることを願っています。このニュースレターはネットワーカーのみなさんがつくっていくものです。いっしょに大きく育てていきましょう。



TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS

国連子ども特別総会がひらかれました

各国の子どもたちが世界に向けてメッセージ



© UNICEF/HQ02-0119/Susan Markisz

子どもにふさわしい世界をつくるために何をしたらよいか話し合う「国連子ども特別総会」が5月8日から10日までアメリカ・ニューヨークの国連本部でひらかれました。60か国以上の総理大臣や大統領をはじめ、合計6000人以上が参加しました。

本会議の前、5月5日から7日まで、138か国から362人の子どもたちが参加して「子

どもフォーラム」がひらかれ、子どもたちだけでの話し合いもおこなわれました。ここでまとめられた子どもたちのアピールは、8日の本会議で発表されました。子どもが国連総会で演説するのはこれがはじめてのことです。

「わたしたちは世界の子ども。わたしたちは搾取や虐待を受けている子ども。わたしたちはこれまで声を聞いてもらえることのなかった子ども。…わたしたちは子どもにふさわしい世界がほしいのです。」こうはじまった子どものアピールは、子どもにふさわしい世界はどんな世界かをひとつずつ説明し、最後に「おとなはわたしたちを未来というけれど、わたしたちは今ここにいる現在でもあるのです。」としめくくりました。

その後、世界各国のリーダー達は熱心な議論をし、これから世界の子どもたちのために果たす約束を決めて閉会しました。

この会議については、次号のユニセフ子どもネットニュースでくわしくお伝えします。

総会で子どもたちが発表したアピールの全文やアンさんとのQ & Aなどをホームページでお伝えしています。 <http://www.unicef.or.jp>

	「ユニセフ子どもネットニュース」創刊！ ユニセフトピックス	1
	第2回子どもの商業的搾取に反対する世界会議 (in 横浜) でユニセフ子どもネットワーカー大活躍！	2-3
	地図で見る世界の子どもたち 「健康なくらしと教育」	4-5
	アフガニスタンの子どもたちは今 ~子どもネットワーカー記者	6-7
	REPORT&INFORMATION 報告とお知らせ	8